

刊夕 日六月二十

常磐每日新聞

定額一圓五錢 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
電話 五五五 五五五
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

陣中想出話 (七)

平町出身

步兵第九聯隊 水野重光
第三中隊

行軍の一日

今日もまた雨降りかと悲觀の聲でも？ありがたいぞ戰友今日は小隊長は尖兵たぞ、その内に小隊長が來られて敵狀を話された、小隊長はいつになく緊張な敵は居るまいぞ等と元氣溢れる色があり、と顔に現れる、君、時計は何時だ、最早めしたな、其の内食せよとの命令あり、梅干のおかずで腹が満されたので何時になくうまかつた、オイ君、情報なんてあてにならないか、何時も居らんだはないか、戦友居れば氣合が、かゝるんだがなう。
出發準備の命令、續いて出發二里も歩いた頃通譯の報告……前の部落に敵兵ありな、居たかと小隊長は喜ぶ、其の中に小隊長走り第一分隊、左第一線第四分隊其の後續行ズット部落を前進、その中にトーン、と一齊に小銃がなり出した。
そら居るぜ……騎馬隊だそら出たと連發する機關銃の連發する音が氣持よい、其の中にアイヤー、と斷未魔の聲が聞える、また、

く間に敵は全滅し馬數十頭を占領最早敵影なし小隊長の方よりドーと勝時の聲がする負傷者はないかと小隊長は心配顔「異常なし」との報告に安心の様子、小隊長「敵の野郎共今日はうまく行つたな」今日みたいに行つければ満点だと嬉色満面、今日は氣合が掛つたの

ノート

白髪染めかぶれには栗の葉の煎汁でたでるのが一番よろしうございます。若し栗の葉が手に入らないやうな場合には栗の木の皮でも實の皮でもよろしうございます。

足の痛も知なかつた、底豆のやつ二ツ三ツ出た様だ、もうあの部落が宿營地だ、だん、宿營地に近くなつたら豆が痛み出した、皆な片足が無いのと小隊長は笑

明日の献立

【朝】こんにやく 薄くす おろし生姜
【晝】豚肉のカツレツ
【晩】たきごぼう 巻ゆば 煮びたし

はせる、その中に男世帯の炊事が始まる、夕飯の済んだ時明日は七里が豫定だぞぐづん、して居ないで早く休めよと部下思ひの小隊長

の聲がする、なに明天も七里か、此の毎日の雨によく歩かせるもんだ、大人連は馬だからわけないがやりきれない、今日行軍でさ、此の通りだ、看護兵君見て呉れ、〇〇兵殿此の豆が悪いのです。
明天は無理に頑張らないで醫務室の馬車に乗つたらどうですと親切の言葉も聞きも終らず大かつ一聲、なんだ貴様、オイ甘く見たかね俺死んでも馬車には乗らん死生を共にした戦友だつて苦しむのは皆同じだ、二、三、い、ぞ其の氣合死ぬまでぬぐなドットと笑聲があがる、先生氣合は掛けたもの、そうならばよいと一人淋しくほへんだ。

笑話

道樂息子「ネエ君、僕は今ゴルフと自動車運轉の練習をやつてゐるがつまらぬ練習と云ふ事に變りはないね」
友人「大ありさゴルフの時には君は何も打てないが自動車には何でも打ち當てるぢやないか」

上田外科醫院
平町 南町
電話 二二九番

酒戰場線異状あり

カフェーセカイのダブル ウルトラスービス
御來店の皆様にモレナク
紫煙の香ゆかしきバツト奉仕進呈
平一
カフェー世界
電話 46

金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します
平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
電話六〇七番

旭硝子株式會社製品

赤菱印 板ガラス
菓子壺 菓子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

イヤ！君！
いゝ冬服を求めたね
斷然三二年型だよ
いやコレカネ！
例の……ソレ！
正札堂さ



平町四丁目停車場通四三六

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

新築落成

御料理 玉よこ

開業御披露
各位益々御清昌の段奉賀候扱て去る八月一日類焼以來休業致し居り候處愈々落成本日より從前通り開業致し候間舊に倍し何卒御最願ひ度此段以紙上御願ひ申し上げ候 敬具
平南町川岸通り 電話四二六

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

月賦建築

第一回申込受(付三十戸限)
御希望者は至急御相談にお出下さい
平町南町十一番地廿三夜尊側
寶商事社 伊東 一

平町の商工世帯 四十四を選定し

收支關係を統計に調製

國富調査

既報本月下旬を期して行はれる國富調査の郡下指定町村たる平町外草野、平窪、上下小川、玉川の五ヶ村の打合せ會は七日午前九時より團體事務所樓上にて開かれるが商工世帯の實際狀態を調査する

平町に於いての方法は商工業者 中収入四百圓未満の者十七名、千圓以下の者廿名、千圓以上の者四名、計四十四世帯を委員が選定して夫々の收支關係を統計に調査するものと

債務調停成績

その件數と金額割

平區裁判所に於ける債務調停法實施以來本日迄の受理件數は債權者よりの申立七件債務者よりの申立四十五件計五十二件にて此の内成立十九件、取下一件、不成立三件、却下三件、未済十六件であるが金額別は二十圓一件、五十圓三件、百圓六件、二百五十圓十四件、五百圓十四件、千圓十四件である

第三方面

女青總會

團長の打合せ

石城郡第三方面女子青年團長會は来る十日午前九時より平第二小學校に於て開かれるが協議事項は總會開催の件である

火防宣傳

既報全

當選受賞 縣下小學兒童の火防宣傳ポスターに應募して見事二等當選

校長會議

第三區が集合

既報第三區小學校長會は来る十日午前十時より平第一小學校に於て開催されるが出席校は平町各小學校を初め十三校にて當日の協議事項

洋服の裁縫

平町で講習會

平町婦人會及び平女子青年團にては最近婦人間にも洋装が盛んになつて來た事に鑑み家庭に於て簡単に裁縫の出来る講習會を開催する爲め準備中の處々々々来る十四五の兩日午前十時より午後四時迄平第二小學校作法室にて洋服裁縫講習會を開催する事となつたが講師は米國ローサンゼルス府日本人洋裁研究會會長影山テウ子女史にて會費は二日間を通じ五十錢である

橋本校長

縣廳出頭

磐城中學校校長橋本文壽氏は今朝平發五時四十二分にて縣廳へ出頭した多分今回の生徒殴打事件に關し招致されたものらしい

農事傳習

改良推肥講演

石城郡神谷農事試驗分場で

平第一校の児童成績品 小學校にては来る十日より三日間飯野小學校に於て開催される児童成績品展覽會に左記児童の書方及び圖書を出品する

△書方 二年鈴木滿男 三年櫻井博 四年遺木肇 五年小坂隆通 六年片寄藤次 高一愛澤麗山 高二坂本久一郎

△圖書 一年佐藤善一 二年吉田敬治 同横山榮一 三年櫻井博 四年高階文三 五年坂本行藏 六年小松公平 高一小野隆夫 高二引地守

好問果樹總會 石城郡好問村字上好問果樹組合では明日午前十時より組合長金成義男氏方に於いて總會を開き決算報告其他を協議する

海人草を服用 平第二小學校にては本日全校生徒に對し蛔蟲驅除の爲め海人草を服用せしめた

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

三河産業博覽會 金牌受賞
昭和産業博覽會

かまぼこ

製造

お茶屋

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

茶屋

電話一四番一

耳鼻喉科専門

平町田町七〇番地

山内醫院

醫學士 山内享吉 電話六九二

入院 應需

高價買入 金、銀、債券

安價販賣 時計と眼鏡

親切勉強 時計のお直し

平町前通り

星野時計店

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します

往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之 電話一八一番

女醫 川井安子

貧困者救済の爲め

歳末同情週間

来る十日から一週間

平役場が金品を受付 生活難をかんと

貧困者の

年末救済

内郷村にて

平町役場では歳末を控へて生活難に追はれる貧困者救済の爲め来る十日より一週間を歳末同情週間とし貧困者救済資金の募集を行ふ事になつたが期間中は各戸より現金、白米、古着類の寄附を受けて商品券、無料理券、入浴券等を作り貧困者に贈つて歳末の生活難緩和に努むる由

陸軍自動車

壯觀五十臺

昨夕平町を通過

雲雀原演習地へ

昨五日後六時頃雨中の平町に數十臺の陸軍大型自動車隊が相次いで乗込み四丁目より六丁目迄の本町通りに停車、夕食後直ちに北進したが是れは東京世田ヶ谷陸軍自動車学校の生徒隊で相馬郡雲雀ヶ原に於て演習を行ふべく自動車五十輛に將校十名、下士百十五名が分乗、通過したものである

婦人座談

みのり會例会

平みのり會にては来る十六日午後七時から日本基督教會日本室にて例會を開くが今度は講師を招かず中村牧師が座長となつて婦人の一般に關し座談會を開くと

歳末貸付協議

石城郡勿來信用組合では来る十

新地主と

小作人が争ふ

平檢事局にて取調

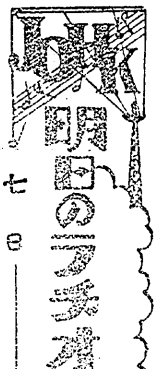
石城郡玉川村大字住吉鈴木一及び鈴木登の兩名は本日平檢事局に於て上田檢事の取調を受けて居るが右兩名は永年の間同村小泉要吉所有の畑を小作して居た處此程同村齊藤晃がその畑を買ひ取けると同時に小作を拒絶し畑を受け上げ麥を播つた爲め兩名は憤慨し畑を堀り起し新たに自分で又麥を播いた爲め齊藤に告訴されたのである

水戸管内

運送競技

高橋君入賞

平運輸株式會社社員高橋清君は昨日午前十時より水戸市役所樓上に開かれた管内全運送店員の競技會に出場見事二等に入賞したが競技



今晩は南西の風
小雨模様明日は
北東の晴れ

今晩の部

- 後六、〇〇 (子供の時間)
- 獨唱と齊唱山形縣新庄町小學校兒童
- 後七、三〇 國際時局特別講座(其一)
- 後八、〇〇 ヴァー オリン
- 獨奏ヨゼンシゲツテイビ

- アノ伴奏ニキタマカルフ
- 後八、四五 歌澤虎左多祭
- 虎貞太夫
- 後九、〇〇 忠臣藏花暦
- (第六)落語「五段目」三ゆう亭園生
- 後九、三一 (滿洲より)
- 農現地保護に就て

明日の部

- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 前九、一〇 料理献立
- 宮城縣食肉協會
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「家庭と書法學」桑原八司
- 後一〇、五五 浪花節
- 後二、〇〇 家庭大學講座
- 「青年期の心理」東大教授
- 青木誠四郎
- 後五、〇〇 受驗講座「英文和譯」日進英語學校長

- 佐川春木
- 後六、〇〇 子供の時間
- 子供のオーケストラ
- 南兒童管絃樂團
- 後七、三〇 國際時局特別講座 其二 法學博士
- 末廣重雄
- 後八、〇〇 ラヂオドラマ
- 「新夫婦」伏見直江外
- 後八、四〇 宮園節「道行
- 緑花房」淨るり宮園千鳳
- 三味線宮園千幸
- 後九、〇〇 忠臣藏花暦
- 七琵琶

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

科人婦。科外
院醫坂井

町田町平
番九五五話電

枕探しの金で

北海道へ高飛

悪事を働いて居たが 寒さに追はれて舞戻

昨報平町二丁目佐野屋旅館に忍入り枕探しの最中に捕逮された石城郡神谷村字中神谷佐藤満次郎三男政治(七)假名は其後平署で取調の結果去る八月中前記佐野

赤井と玉川へ

金馬簾を授與

平警察署管内赤井消防組では過般組員が共一一致して道路の改修、貯水池の新設

入營壯丁送別

石城郡上下小川村では去る五日

午後一時より同村小學校に於て左記七名の本年度入營兵送別會を盛大に舉行した

- △上小川 鈴木一榮 鹿本
- 正四 小林光雄 白木吉
- 良
- △下小川 草野佐一郎 唯
- 野貞雄 西山巖

平職業紹介所報告

回人を求める方

- △紡績女工 二十三才迄
- 高卒 日給一圓二十錢より(双葉郡某工場)
- △印刷見習 十六才 尋卒
- 初給二十錢(平町某)
- △難役 十七才 尋卒 仕
- 着小遣(平町某)
- △トラック助手 二十三才
- 尋卒 月六圓(小名濱町某)

回職を求める方

- △難夫 五十五才 尋三修
- 給料面談(平町某)
- △豆腐賣子 五十五才 讀
- 書し得 給料面談(新潟縣某)
- △難夫 十八才 高卒 給
- 料面談(平町某)
- △土工夫 四十五才 尋二
- 修 給料面談(平町某)



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百十七席 平手

凄い造酒の早業

平手造酒は寺男の長助を相手に酒を飲んでゐると臺所で自分を呼ぶ者がある。造「長助、誰がまゐつたて見ろよ」

長「ハイ誰方でございますか」

と云ひながら平手の居間を出て臺所に来て見ると二十四五になる若い男が腰に脇差を差して向ふ鉢巻をしてせい／＼息を切つてゐる。長「どんな用だな」

○「平手先生を呼んでおくんなさい、私は笹川の若い者でございます」

長「少し待つてゐなせえ、先生笹川の親分の所から使ひがきましてでございます」

造「オ、さうか誰がまゐつたか」

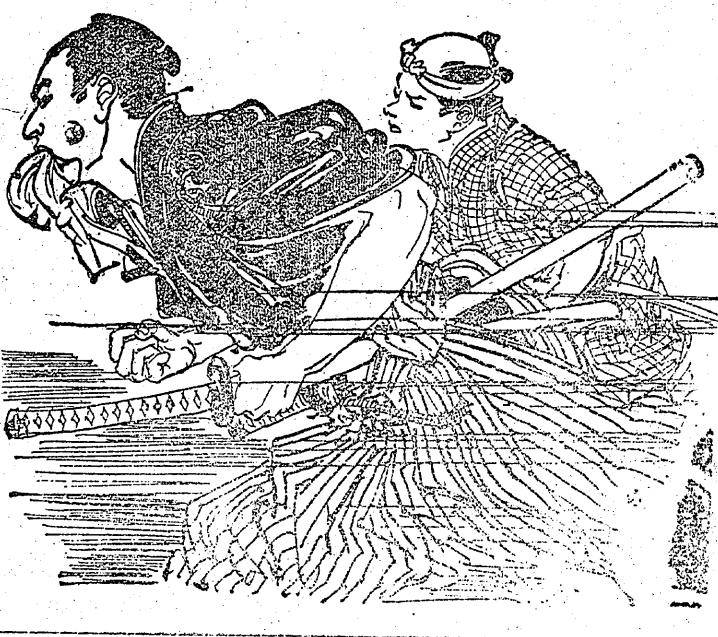
と臺所へ出ると

○「先生私でございます」

造「オ、清八か、その甲斐々々しい扮装さては俺の留守中に飯岡から人数が出たか」

清「さやうでございます、新生の留吉さんの所から使ひが参りまして今夜助五郎が船を仕立て押し寄せるさうでございます」

知らせるなど申して居りますがどうも人数が不足で不安心でございますから此方へ出ましてでございます」



造「水を持つて来い」向ふに井戸があつた水を汲み上げて手拭に浸しそれを吸ふて咽喉を潤し一息吐いて又駈けて行く、笹川近く来るとワツと云ふ人聲、借は飯岡、斬り込みしかと造酒は一刀スラリと引抜

は何人程ゐる」

穿く間も遅しと平手造酒は此の寺を出たが清八と共に笹川を指して駈けて行く然し病中の事とて半里餘り

衣類を着直し白小倉の袴き股立ちを取り覺えの一刀に腰にしがヒラリと飛降り

造「長助草鞋を出せ」

造「平手が参つたぞ、此奴等は拙者一人にて應敵にいたす飯岡の奴共覺悟致せ

と云ひながら後方から斬り込んだ、笹川方は平手が来たと聞いて

○「喧嘩は勝らだ、ソレ先生を殺すな」

と一旦亂れた笹川方足並を立て直して無二無三に飯岡の同勢に斬つてかゝる此の時洲崎の政吉が平手を望んで進み寄る、造酒は一足さがつて

造「政吉が望む敵なり勝負いたすぞ」

血の滴る一刀を取り直して渡り合つたが平手は千葉周作の道場にて麒麟と云はれた者如何に豪氣な政吉も

造酒にあつてはとも互角の勝負をする事は出来ない次第々に切り立てられ後へ／＼と下る、此の折荒町の勘太が手槍を取つて造酒

目かけてサツと突いたがヒラリと身交をした、此折引返した政吉が正面から斬付けた、エイと一聲叫んだ造酒、勘太と政吉は血煙立つてドツと倒れた、時に造酒は兩刀を掲げて倒れた二人を見た、之は造酒の優れた腕前勘太が突いて来た時その槍を避けて身を交した隙に乗じて政吉を斬り付けた

平手町南町
平看護婦會
電話三〇七番

七五三御祝
小供靴大賣出し
△新型實用用品
底革表 七〇より
各種豊富
△小供ゴム長靴 四〇より
御進物にゼヒ。
大塚製靴部
田町・電話七七番

看護婦急派
の求めに應
じます

て飯岡方はワツと崩れ立つた、此折利根川を遡つて来た一艘の船、之には飯岡の兄弟分松岸の半次が三十人も若い者を連れてゐる、此の晩半次は松岸にゐたが何となく此の喧嘩の事が心にかゝる若し笹川に是に應ずるだけの用意があつては一大事、それ故散つてゐる若い者等を集めて船を仕立て、これに押つて来た、すると笹川方に切り立てられて飯岡の同勢は新宿の河岸まで追立てられた半次は若い者を引いてヒラリと岸に上り

内科 一般
平町新川端(釜屋新宅向)
醫學博士 難波 陸
電話五〇二番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

高級貸切
不一タクシー
電話・三二

平新川町十九
外産婦人科
木村病院
電話一六四番
院長 木村寅次郎
醫學士 内木宗八

磐城名産
魚問屋
最優最良
本盛
命賀
平榮
代理店
電話一三番